

取扱説明書

モナロウ ハンドナッター 両手式

注文コード：65892243

このたびは、ハンドナッター 両手式をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告

- 本製品は、アルミニウム製、スチール製、ステンレス製の専用ナット(かしめナット)を“かしめる”ことを目的として作られています。
- 他の用途での使用は絶対におやめください。
- 本製品の分解修理改造はしないでください。事故の原因となり危険です。
- 使用前に、必ず各部に異常がないか点検してください。
- 本製品は、大切に取扱ってください。強い衝撃が加わった場合は、必ず各部に異常がないか点検してください。
- 本製品に異常を感じた場合は、速やかに使用を中止し、弊社に点検または修理をご依頼ください。
- 過労と思われるときや飲酒後、薬物を服用しているときなどに、本製品を使用しないでください。判断力が低下し、重大な事故の原因となることがあります。
- 以下の環境での使用は大変危険です。絶対におやめください。
 - ・雨天強風、雷など悪天候時
 - ・湿った場所、濡れた場所
 - ・傾斜のある場所、不安定な場所
 - ・40℃以上になる高温な場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・火気や可燃性のガス液体のある場所
 - ・通気が悪く換気のできない場所
 - ・使用上障害となる物がある場所
- 作業状況に合わせて、安全手袋、耳栓、防塵マスク、安全帽、安全靴、作業服などの安全保護具を着用してください。
- サイズの極端に大きい衣服やズボンなど、巻込みのおそれがある衣服や作業服は、着用しないでください。必ず、体に合った作業服を着用してください。
- 作業者以外は、作業場に近づけないでください。特に、お子様は、絶対に近づけないでください。
- ノーズピース、マンドレル、かしめナットは小さな部品です。お子様が誤って口に入れないよう、十分ご注意ください。
- 高所作業では、下に人がいないことをご確認ください。万が一、落下した場合、重大な事故の原因となります。
- 作業する対象がしっかり固定された状態で作業してください。ケガの原因となります。
- ハンドルの可動部に指や手を挟むと、ケガをするおそれがあります。取扱いには十分に注意ください。
- ハンドルにパイプを差込んで使用しないでください。本体破損や、思わぬ事故の原因となります。
- 本製品をハンマーで叩かないでください。本体破損や、思わぬ事故の原因となります。
- 使用しないときは、施錠できる場所に保管してください。
- 本製品を他人に貸すときは、必ず本書も一緒に渡し、使用方法を十分理解してもらってください。誤った使用により、ケガや事故の原因となります。
- 誤った使用方法により、本製品が破損したり、人体への損傷や物品への損害が生じた場合、弊社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。

注意

- ストロークの長さ(1回のハンドル操作で、かしめる量)は適切に調整してください。
ストロークが長すぎると、かしめナットのネジ山は破損して強度不足になったり、本体破損の原因となります。
- かしめナットとマンドレルは、同じサイズのものを使用してください。サイズが異なるものを使用すると、本体破損の原因となります。
- M3やM4など細いマンドレルには、力を掛け過ぎないでください。強い力を掛けると折れるおそれがあります。
- かしめ不足は、かしめナットが抜ける原因となります。作業後に必ずかしめ具合をご確認ください。

2 特長

- アルミニウム製、スチール製、ステンレス製のかしめナットを“かしめる”ことができます。
- M3～M12のかしめナットに対応したマンドレルが付属しています。
- 両手式ハンドルのため、力が掛けやすく楽に作業ができます。

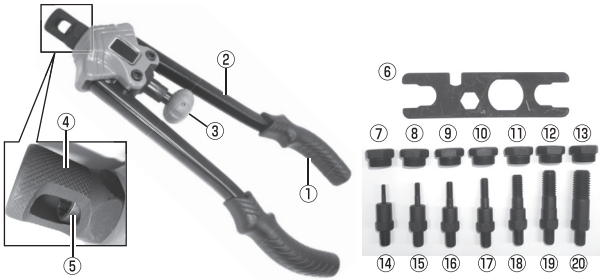
3 仕様

対応かしめナット材質:アルミニウム、スチール、ステンレス

付属品:レンチ×1、M3マンドレル・ノーズピース×各1、M4マンドレル・ノーズピース×各1、M5マンドレル・ノーズピース×各1、M6マンドレル・ノーズピース×各1、
M8マンドレル・ノーズピース×各1、M10マンドレル・ノーズピース×各1、M12マンドレル・ノーズピース×各1

※ かしめナットは付属していません。別途、用意してください。

4 各部の名称



No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称
①	グリップ	⑥	レンチ	⑪	M8ノーズピース	⑮	M5マンドレル
②	ハンドル	⑦	M3ノーズピース	⑫	M10ノーズピース	⑯	M6マンドレル
③	ノブ	⑧	M4ノーズピース	⑬	M12ノーズピース	⑰	M8マンドレル
④	ノーズピースセット	⑨	M5ノーズピース	⑭	M3マンドレル	⑱	M10マンドレル
⑤	スリーブ	⑩	M6ノーズピース	⑮	M4マンドレル	⑲	M12マンドレル

※商品改良の為、仕様・外觀等を予告なく変更することがあります。
この変更によって生じる損害については、当社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

5 使いかた

初めに、準備 1 ～準備 2 の作業を行ってください。

■ 準備 1：かしめナットの準備と下穴開け

- 1 使用するかしめナットを準備します(アルミニウム製、スチール製、ステンレス製)。
- ⚠注意
- かしめナットは付属していません。別途、用意してください。
- 2 作業する対象に、かしめナットに指定されているサイズの下穴を開けます。

■ 準備 2：マンドレルとノーズピースの交換

付属のマンドレルとノーズピースを使用するかしめナットと同じサイズのものに交換します。

- ⚠警告
- マンドレル、ノーズピース、および本体に、損傷や破損、ネジの緩みがないことをご確認ください。異常が見つかった場合は、使用を中止し、弊社にご相談ください。

- ⚠注意
- マンドレル、ノーズピースは、両方ともかしめナットと同じサイズに交換してください。サイズが異なると、正常に取付けられなかったり、本体損傷の原因となります。

- 3 付属のレンチで、ノーズピースを緩めて外します。



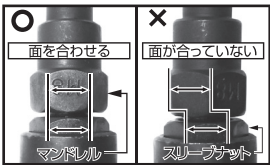
- 4 スリーブを押下げながら、マンドレルを緩めて外します。

- ⚠注意
- マンドレルが外れにくいときは、ノーズピースセットを取外してください。



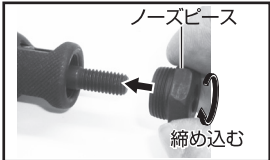
- 5 スリーブを押下げながら、交換するマンドレルを手で締め込んで取付けます。

- ⚠注意
- スリーブを押下げながら、交換するマンドレルを巻き入れます。
 - マンドレルは、手で締め込んでください。
 - マンドレルとスリーブナットの六角面を合わせてください。位置を合わせないと、スリーブが戻りません。



※説明のため「ノーズピースセット」は取り外しています。

- 6 付属のレンチで、交換するノーズピースを締め込んで取付けます。



■ 使いかた

- 1 ハンドルを開いて全開にします。
 - 2 マンドレルに、かしめナットを取付けます。
- ⚠注意
- かしめナットとマンドレルは、同じサイズのものを使用してください。サイズが異なるものを使用すると、本体破損の原因となります。
- 3 作業する対象をしっかりと固定し、あらかじめ開けた下穴に、かしめナットを差込みます。
 - 4 かしめナットのかしめ具合を確かめながら、ゆっくり慎重にハンドルを閉じます。



- ⚠注意
- “かしめ”は、数回に分けて行ってください。1回で“かしめる”と、かしめナットやマンドレルが破損するおそれがあります。
例)かしめ(1回目)⇒ノブを締め込む⇒かしめ(2回目)⇒ノブを締め込む
 - ノブは少しずつ締め込んでください。締め込み過ぎると、ストローク量が増える原因になります。
 - M3やM4などの細いマンドレルには、力を掛け過ぎないようにしてください。強い力を掛けると折れるおそれがあります。
 - かしめナットが緩かったり回ったりする場合は、かしめ不足です。再度かしめてください。

- 5 かしめが完了したら、ノブを緩め、かしめナットからマンドレルを抜きます。

- ⚠注意
- かしめ過ぎでマンドレルが回らない時は、マンドレルの穴に棒を差込んで回してください。



6 保管

使用後は、振動がなく常温で、施錠できる清潔な場所に保管してください。高温多湿な場所や、ホコリの多い場所には保管しないでください。

7 お手入れ

- 本体が汚れた場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。水や洗剤、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- ノーズピース、マンドレルは、定期的に清掃してください。
- 可動部には、定期的に潤滑油を注油してください。

8 本製品の廃棄について

本製品の一部または全部を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例に従ってください。

9 こんなときは

本製品が破損したり、正常に使用できなくなった場合、決してお客様自身で分解・修理はなさらず、必ず弊社までご依頼ください。また、部品のご注文や取り扱いでお困りの点などがありましたら、弊社までお問い合わせください。